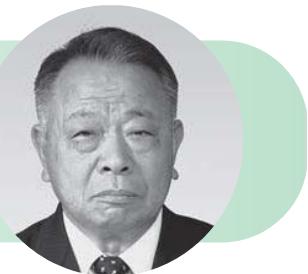


伊 藤 正 信 議員



## 鍋田支所、農村環境改善センター等の統廃合を

問 鍋田支所、農村環境改善センター（以下「センター」）などの統廃合等を聞く。

答 市長 統廃合は今の段階では非常に難しいと思う。

(1) 南部地域の拠点（つぎく）を、統廃合の大きな柱（じゆ）にすべきではないか。

(2) 安全、安心の米づくり地域の指定、市のブランド品をつくる地域づくりには、今後の鍋田支所の業務だけではなく、港開発、農業基盤づくりの指導強化をする総合センター化で、地域の活動力を生むべきではないか。

◀ 鍋田支所（写真左）と農村環境改善センター（同右）



## 補助事業で非常 に難しい

問 市の遊休地に目的、  
方向性があるか

答 開発部長 (1) センターは、（制約のある国・県）補助事業（建設）にまつわる諸条件がある。

(2) (1) 市にどれくらいの場所と面積があるのか。  
（2）目的と方向性があるのか。

## それぞれ目的 がある

問 合併後に看板が  
変わらない

合併してから今まで、看板（表示）がなかなか変わらない。もう、きっちりやる時期ではないか。

答 総務部長 全庁を挙げて対応していく

答 市長 合併前の弥富町、十四山村という立て看板は確かに残っている。

以前はテープ等で直していたが、それもはがれていた状況なので、撤去と取り換えを基本とし、全庁挙げて対処していく。

違い、目的がある。市有地をどのタイミングで活用方法を考えていくかは、より有効活用ができるよう議員にも示し、議論していただきたい。